

第 684 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「BSN スペシャル 劇場にて
舞踊家 金森穰と新潟」

2022年12月31日（土）
15:30～16:30放送

令和5年1月25日

BSN新潟放送

第 684 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 5 年 1 月 25 日（水）午前 11：00～

2. 開催場所 6 F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	古 賀 豊	副委員長	佐 藤 元
委 員	三井田 由 香	委 員	佐 野 哲 郎
委 員	渡 邊 信 子	委 員	石 坂 智恵美
委 員	大 橋 未来子	委 員	馬 場 幸 夫

○審議番組事前レポート提出者

委 員 広 川 和 義

○放送事業者側出席者

社 長	佐 藤 隆 夫	専務取締役	島 田 好 久
メディア本部長	五 十 嵐 幹 史	編成局長	井 上 智 美
情報センター長	小 湊 潤		

<説明員> 情報センター テレビ制作部 坂井悠紀

事務局 金 山 英 功（編成局テレビ編成部部長）

4. 議 題

1 報告事項 令和 5 年 2・3 月の番組について（各担当）

2 審議事項 「BSN スペシャル 劇場にて 舞踊家 金森穰と新潟」
（2022 年 12 月 31 日（土）15:30～16：30 放送）について

5. 議事の概要

佐藤社長のあいさつの後、

各担当からの 2・3 月度番組報告に続いて、

「BSN スペシャル 劇場にて 舞踊家 金森穰と新潟」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

○「Noism」は身近ではなく、先入観で敬遠していたが、TVで知ることができた。
一つの作品を仕上げる手間に驚いた。

○丁寧な取材、紡ぎ出される言葉から金森さんの新潟への思いを強く感じた。

○ナレーションが落ち着いた感じで良かった。カメラワークに惹きこまれた。

○金森さんの考え・言葉が抽象的であり、番組を一度見ただけでは理解が難しい。
繰り返し見ることにより、発した言葉の意図が理解できた気がした。

○タイトルにNoismを入れなかったのは？

○市長と金森さんとの対談のシーンは取って入れたのか？

○金森さんが新潟で18年過ごしても感じる疎外感とは何か？

○新潟で成長した金森さんに感動。新潟にも人を育てる力があると感じることができた。

○全国4か所での公演を観た人が、新潟がどんなところだと思ったのかコメントを聞きたい。

○劇団としてやっていく以上、外へ伝える必要がある。通常はプロデューサー等いるものだがNoismに関しては金森さんがやっている。これは本人の意向？

○金森さんが新潟をテーマに作品を手掛けるまで18年を要した理由は？

～新潟放送 情報センター テレビ制作部 坂井悠紀より～

ご多忙の中、番組をつぶさにご覧いただき、そして思慮深いご審議をありがとうございました。ご意見をいただくたびに、本来言語を介さない「舞踊」という芸術表現を番組化する難しさを改めて感じました。一方で、取材の蓄積についてご評価いただけたことは大きな励みとなり、「Noismの舞台を見に行きたいと思った」というご感想は制作者冥利に尽きるものでした。頂いた言葉を糧に、これからも臆せず番組制作に挑もうと思っています。

【文責・番組審議会事務局】